

未の満水 300 年・池口崩れ 1300 年

天竜川災害伝承 シンポジウム

～大規模災害の教訓を次世代に伝える～

近年、異常気象等に起因する集中豪雨や局地的な大雨が観測されており、大雨による大洪水や大規模土砂災害が起こる危険性が増しています。

平成 27 年は、伊那谷において未曾有の災害と伝わる「未の満水」から 300 年、「池口崩れ」から 1300 年の年となります。

地形が急峻で地質が脆弱な伊那谷では、今後起こるであろう災害に備え、地域の防災力向上を図ることは重要であり、過去の災害を学びその教訓を地域住民、次世代に伝えるため、シンポジウムを開催します。



飯田市川路地区より天龍橋を望む



遠山の埋没林



夜泣き石

エクスカーション（現地見学会）

天竜川で起こった 過去の災害について

平成 27 年
5 月 28 日(木) 12:30 ~ 17:30

主な見学地

- ◎小道木埋没林（飯田市南信濃）
- ◎池口崩れ
- ◎飯田市南信濃自治振興センター

※募集定数 50 名程度
（申込多数の場合は先着となります。）

シンポジウムの詳細については
下記 URL を参照ください

URL :
<http://www.cbr.mlit.go.jp/tenryo/symposium/index.html>



CPD 対象講習会（申請中）

平成 27 年 5 月 29 日(金) 13:20 ~ 17:30 ※12:30 ~ 受付
飯田文化会館 大ホール

入場無料 申込期限 平成 27 年 5 月 8 日(金) ★FAX・メールにて
事前参加申込み受付中

プログラム

●開会 13:20

●アトラクション 13:45

「黒田人形」

上演：飯田市立高陵中学校 黒田人形部

第 1 部

●基調講演 14:20

「池口崩れと埋没林の研究」

寺岡義治 伊那谷自然友の会

●基調講演 15:00

東日本大震災と原発事故からの 復興最前線『広野町』で感じること

尾田栄章 福島県広野町 復興企画課企画振興係
（元天竜川上流工事事務所長、元建設省河川局長、
第 3 回世界水フォーラム事務局長、国連事務総長
『水と衛生』に関する諮問委員会前委員）

第 2 部

●パネルディスカッション 15:50

「大規模災害に学び 次世代に伝えること」

【コーディネーター】

北澤秋司 信州大学名誉教授

【パネリスト】

松島信幸 理学博士

尾田栄章 福島県広野町 復興企画課企画振興係

桂 稔 南信州広域連合 飯田広域消防本部 消防長

田中秀基 長野県砂防課長

中谷洋明 天竜川上流河川事務所長

●閉会 17:30

展示室

「パネル展示」 12:00 ~ 18:00

【主 催】 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所／飯田建設事務所／飯田市／高森町

【後 援】 林野庁 中部森林管理局 南信森林管理局／林野庁 中部森林管理局 伊那谷総合治山事業所／国立大学法人 信州大学 地域戦略センター／上伊那広域連合／南信州広域連合／下伊那郡町村会／下伊那土木振興会／一般社団法人 中部地域づくり協会／公益社団法人 日本地すべり学会 中部支部／公益社団法人 砂防学会／一般社団法人 長野県建設業協会（飯田支部、伊那支部）／一般社団法人 長野県南部防災対策協議会／一般社団法人 南信防災情報協議会／一般社団法人 長野県測量設計業協会／一般社団法人 建設コンサルタント協会 関東支部
[河川協力団体] 一般財団法人 飯田市天竜川環境整備公社／天竜川総合学習館（かわらんべ）／特定非営利活動法人 天竜川ゆめ会議／西春近自治協議会／三峰川みらい会議

【お問い合わせ】 国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 調査課

〒399-4114 長野県駒ヶ根市上穂南 7-10 TEL : 0265-81-6415 FAX : 0265-81-6420 Mail : tenjyochosa@cbr.mlit.go.jp

未の満水 300 年・池口崩れ 1300 年 天竜川災害伝承シンポジウム

～大規模災害の教訓を次世代に伝える～

【プログラム】

◎受付開始 12:30

◎アトラクション 13:45

「黒田人形」 上演：飯田市立高陵中学校 黒田人形部

黒田人形は三人遣いの人形浄瑠璃で、元禄年間（1688～1703）から飯田市上郷下黒田地区で受け継がれ、人形の操法に「手」と呼ぶ古い型を 30 近く伝えています。平成 6 年 2 月 18 日に飯田市無形文化財に指定され、毎年 4 月下旬黒田諏訪神社の春祭りには、国重要有形民俗文化財の「下黒田の舞台」で奉納上演されます。

第 1 部

◎基調講演 14:20

「池口崩れと埋没林の研究」 寺岡義治

伊那谷自然友の会

◎基調講演 15:00

東日本大震災と原発事故からの復興最前線
『広野町』で感じること 尾田栄章

福島県広野町 復興企画課企画振興係

第 2 部

◎パネルディスカッション 15:50

「大規模災害に学び次世代に伝えること」

【コーディネーター】北澤秋司 信州大学名誉教授
【パネリスト】松島信幸 理学博士
尾田栄章 福島県広野町 復興企画課企画振興係
桂 稔 南信州広域連合 飯田広域消防本部 消防長
田中秀基 長野県砂防課長
中谷洋明 天竜川上流河川事務所長

平成 27 年
5 月 29 日(金)

飯田文化会館 大ホール

〒395-0051 飯田市高羽町5-5-1
TEL.0265-23-3552

【電車】JR 飯田線、飯田駅より徒歩約 10 分

【車】飯田ICより約 15 分、松川ICより約 25 分
自家用車でおいでの場合は飯田文化会館駐車場を
ご利用ください。

公共交通機関でのご来場をお勧めします。

入場
無料



【基調講演者】



寺岡 義治 伊那谷自然友の会

昭和 30 年静岡県営林署在職中、富士山大沢崩れの火山灰堆積崩土から、炭化木片を発見。この木片の発見が、現在の埋没木への関りの「きっかけ」となっている。

昭和 34 年ふるさと上郷村（現飯田市上郷黒田）に戻り、村有林 野底山に関り続け、公務以外でも、森林、林業、動植物に関わり続けてきた。

昭和 58 年 9 月の 10 号台風以来、埋没木、埋没林の調査を続けてきた。



尾田 栄章 福島県広野町 復興企画課企画振興係

（元天竜川上流工事事務所長、元建設省河川局長、第 3 回世界水フォーラム事務局、国連事務総長『水と衛生』に関する諮問委員会前委員）

1967 年京都大学大学院修了後、建設省入省。天竜川上流工事事務所長、中部地方建設局長を経て、1996 年に河川局長に就任し、河川環境を目的に加える河川法改正を主導。1998 年退職後、第 3 回世界水フォーラムの事務局長として『第 3 回世界水フォーラム』を成功に導くと共に『春の小川（渋谷川）』の再生を目指す NPO 法人を設立。2013 年より東日本大震災で被災した広野町で復興に向けて、福島県の任期付き職員として広野町役場に勤務。

エクサカーション（現地見学会）

天竜川で起こった 過去の災害について

平成 27 年 5 月 28 日(木) 12:30～17:30

スケジュール

★マイクロバスにて移動します。

◎飯田市役所（集合） 12:30
◎小道木埋没林 着 13:50
◎池口崩れ 着 14:40
◎飯田市南信濃自治振興センター 着 15:30
◎飯田市役所 着 17:30

【お問い合わせ】国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 調査課

〒399-4114 長野県駒ヶ根市上穂南 7-10 TEL：0265-81-6415 FAX：0265-81-6420 Mail：tenjyochosa@cbr.mlit.go.jp

参加申込書

FAX:0265-81-6420

Mail：tenjyochosa@cbr.mlit.go.jp

- 参加希望の方は必要事項を記入の上、FAX、メールにてお申込みください。
- CPD 受講証明書を希望される方は、「CPD 受講証明書希望」に○印をご記入ください。

申込期限
平成 27 年 5 月 8 日(金)

シンポジウム	エクサカーション（現地見学会）	（参加希望のプログラムに○印をご記入ください。）	
■氏名	■TEL	■FAX またはメールアドレス	
	■所属等 （団体名）	CPD 受講証明書希望	

※CPDとは技術者の継続教育のことです。CPD受講証明書はCPD単位を登録する際に必要となります。
※お届けいただく個人情報は、今回のシンポジウムに関する連絡のみに利用し、他では一切使用いたしません。